

令和3年度中学生チャレンジテスト(1・2年)・大阪市版チャレンジテストplus(1年)の結果概要

大阪市教育委員会

・集計値／グラフは、1月13日に調査実施した生徒を対象として集計した値である。

○調査実施日
・令和4年1月13日(木)

○学習状況に関する調査
・生徒アンケート

○調査対象
・中学校1年 ・中学校2年

○実施校数
・中学校1年:127(459)校
・中学校2年:126(455)校

○学力に関する調査

・中学校1年:国語、数学、英語、
社会、理科
・中学校2年:国語、数学、英語、
社会(A・B)、理科(A・B)

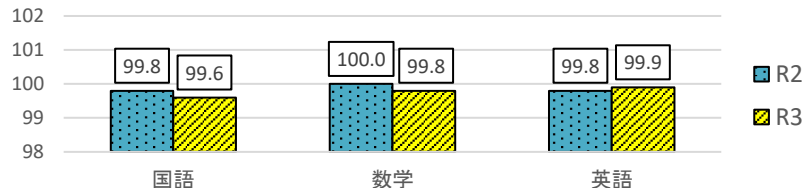
○実施生徒数
・中学校1年:15,027(59,730)人
・中学校2年:14,769(58,824)人

※中学生チャレンジテスト
平均点、無解答率で表記
()内の数字は大阪府

※大阪市版チャレンジテストplus
平均正答率、無解答率で表記

※中学校1年の社会、理科については大阪市独自調査「大阪市版チャレンジテストplus」

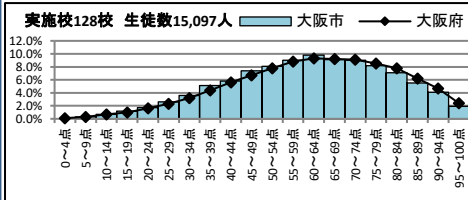
標準化得点を活用した経年分析



※標準化得点は年度間の相対的な比較ができるよう、大阪府平均を100として統計的に計算したものです。
※令和2年度と3年度で、個々の生徒の対応のあるデータにより分析したものです。

中学校1年【国語】

平均点 60.8(62.2)点
無解答率 9.7(9.7)



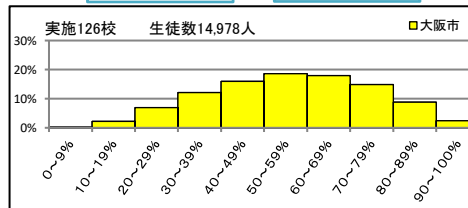
良好
□文脈に即して漢字を正しく読んでいること
□楷書の書き方を理解していること

課題
■文脈に合わせて文章を適切に書くことができること
■古典について表れたものの見方や考え方に触れること

【これからの学習に向けたアドバイス】
★文章を書くときは、読み手のことを考えて、敬体・常体をそろえましょう。
★古典作品を読むときは、登場人物の言動に注目しましょう。また、読み取った内容のおもしろさなどについて意見交流していきましょう。

大阪市版チャレンジテストplus 中学校1年【社会】

平均正答率 56.2点
無解答率 3.0



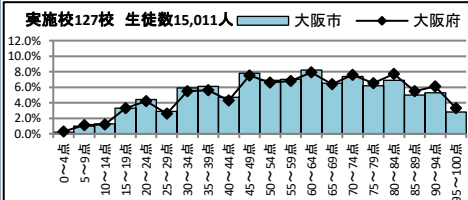
良好
□貝塚について把握すること
□世界の地域構成に関する知識をもとに、世界地図を読み取ること

課題
■さまざまな世界地図の特色を把握すること
■複数の資料の情報をもとに探究し、表現すること

【これからの学習に向けたアドバイス】
★資料から読み取った情報を学習したこと結び付けて、様々な側面、立場から考え、説明しましょう。
★複数の資料から情報を読み取り、比較したり関連付けたりして、考えたことを表現しましょう。

中学校1年【数学】

平均点 57.2(58.5)点
無解答率 6.0(6.2)



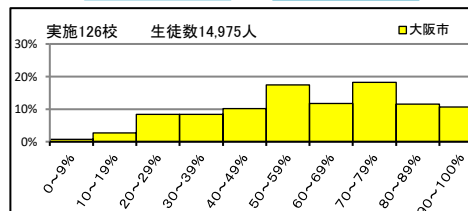
良好
□数直線上の点やグラフの座標を読み取ること
□具体的な図形で、平行移動を見いだすこと

課題
■具体的な事象の中の数量の関係を捉え、文字式の意味を説明すること
■具体的な事象に対応させてグラフから情報を読み取り、事象に対応させて解釈して計算すること

【これからの学習に向けたアドバイス】
★数量関係を文字式で表すときに、式が何を表しているのか、なぜその式になったのかを説明できるようにしましょう。
★複数の表やデータから情報を読み取るときは、単位に注目しながら数量関係を整理して、考察しましょう。

大阪市版チャレンジテストplus 中学校1年【理科】

平均正答率 60.7点
無解答率 3.8



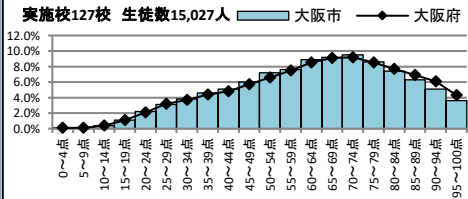
良好
□動物の体のつくりや生活のしかたを理解すること
□光がガラスから空気中に進むときの道筋を指指すること(A問題)
□気体の集め方について理解すること(B問題)

課題
■レンコンの外部形態の観察から、可食部が茎であることを判断すること
■おもりがばねを引く力を矢印で表すこと(A問題)
■水とエタノールの混合物を加熱したときの温度変化を表したグラフを指指すること(B問題)

【これからの学習に向けたアドバイス】
★観察で見つけた外部形態などの特徴を整理し、共通点や相違点をもとに分類するようにしましょう。
★身近なところに存在している力を見つけ、力の三要素(作用点、力の大きさ、力の向き)に注目して矢印で表しましょう。(A問題)
★観察や実験の結果を表やグラフ、図などの多様な形式で表したり、物質の性質などと関連付けて考察を行ったりしましょう。(B問題)

中学校1年【英語】

平均点 62.6(63.5)点
無解答率 4.6(4.7)



良好
□短い英文を聞いて情報を正確に聞き取ること
□まとまったやり取りを聞いて、話の概要を捉えること

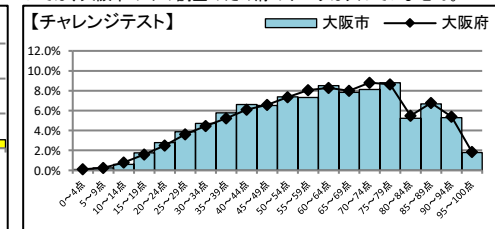
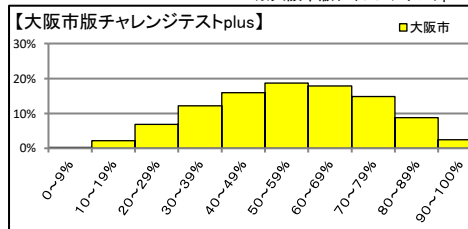
課題
■質問やその質問に対する答えを正確に書くこと
■ポスターと会話文を読み、内容と要点を適切に把握すること

【これからの学習に向けたアドバイス】
★英語で質問をするときに、どのような表現でどのような質問ができるのか、さらにその質問に対応する答え方を理解しましょう。また、理解した表現を自分で使ってみましょう。
★パンフレットやポスター、手紙などを読むときは、どのような情報を得るために読むのかを意識するようにしましょう。

データの見方

【ヒストグラム】

チャレンジテストは5点ごとに区切った得点ごとの生徒の割合を示したもの
大阪市版チャレンジテストplusは10%ごとに区切った平均正答率ごとの生徒の割合を示したもの
※大阪市版チャレンジテストplusについては、大阪市のみ調査のため府のデータは入っていません。



中学校2年【国語】

平均点
57.5(58.8)点

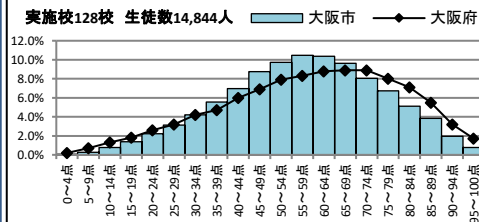
無解答率
12.1(11.9)

- 良好
- 文章の中での言葉の働きを理解すること
 - 情報を整理し、出典を示すこと

- 課題
- 目的に応じて情報を集め、伝えたいことを明確にすること
 - 主語に対応させて述語を適切に書くこと

【これからの学習に向けたアドバイス】

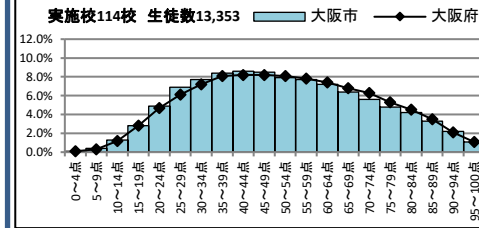
- ★メールを送るときは、伝えたい事柄が相手にわかりやすく伝えられるよう、必要な情報を整理して簡潔に書くようにしましょう。
- ★文章を書くときは、主語・述語など、言葉同士の関係について確認し、文のねじれがないように推敲(すいこう)しましょう。



中学校2年【社会A】

平均点
51.2(52.2)点

無解答率
6.4(6.4)



- 良好
- 養殖漁業について理解していること
 - 過疎・過密と少子化・高齢化について理解していること

- 課題
- 問屋制家内工業について理解していること
 - 複数の資料の情報をもとに、多面的、多角的に考察し、説明すること

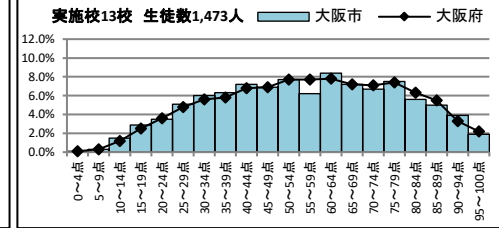
【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★社会を構成する仕組みについて理解するために、学習したことを関連付けながら整理しましょう。
- ★複数の資料の情報を、見比べたり結び付けたりして、考察したことを簡潔に説明しましょう。

中学校2年【社会B】

平均点
56.0(56.8)点

無解答率
5.6(5.5)



中学校2年【数学】

平均点
59.0(60.1)点

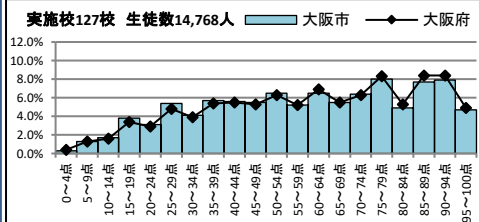
無解答率
9.4(9.4)

- 良好
- 整式の加法と減法の計算をすること
 - 証明の方針を立てる際に根拠となる事柄を筋道を立てて考えること

- 課題
- グラフの交点を事象に即して解釈し、数学的に説明すること
 - 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を構想を立てて説明すること

【これからの学習に向けたアドバイス】

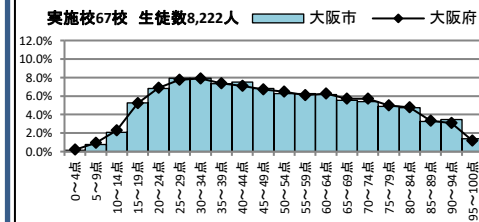
- ★問題解決をするためにグラフから情報を読み取るときは、着目した点について、xとyの値を用いて説明してみましょう。
- ★倍数の表し方や、数の性質がいつでも成り立つことを示すために、それぞれどのような文字式で表現すればよいかを整理してみましょう。



中学校2年【理科A】

平均点
53.9(54.4)点

無解答率
5.6(6.0)



- 良好
- 植物細胞にみられるつくりの名称と働きについて理解すること
 - 二酸化炭素を化学式で表すこと

- 課題
- ヒトの吸気と呼気にふくまれる気体の体積の割合の表から、1回の呼吸により体内にとり入れた酸素の体積を求めること
 - 有機物を燃焼させると質量が小さくなる理由を、生じる2つの物質を用いて表現すること

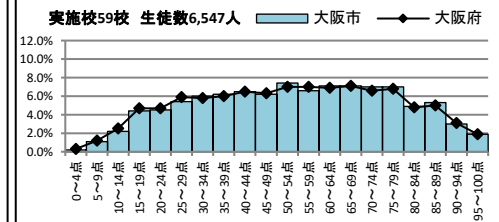
【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★観察や実験では、「変える条件」と「変えない条件」を整理して表などにまとめ、「何のために行うのか」、「どのような結果が予想されるのか」を考えながら行うようにしましょう。
- ★考察を行うときは、観察や実験の結果を自分の予想と比べて何がわかるのかを考えるとともに、根拠を示しながら説明するようにしましょう。

中学校2年【理科B】

平均点
53.8(53.1)点

無解答率
5.5(6.3)



中学校2年【英語】

平均点
57.8(58.5)点

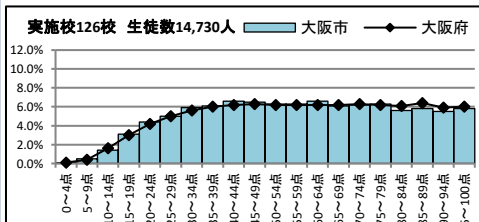
無解答率
5.5(5.6)

- 良好
- 日常的な話題についての会話を聞き取ること
 - 知識を活用し、英文を完成させるための適切な語を選ぶこと

- 課題
- 場面や状況に応じて指示された語数の英語を入れ、英文を完成させること
 - 日常的な話題についてのメール文を読み、内容の要点を捉えること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★英文を正確に組み立てるには、自分で意識的に英文をつくる経験を積む必要があります。日記を書く等、学んだ語や文を使って繰り返し英文を作ってみましょう。
- ★まとまった英文を読んでその内の要点を捉えるためには、語彙や文法の知識が必要です。教科書本文を読み返し、分からない語の意味や文法事項について確認しましょう。



■今回お知らせする調査結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

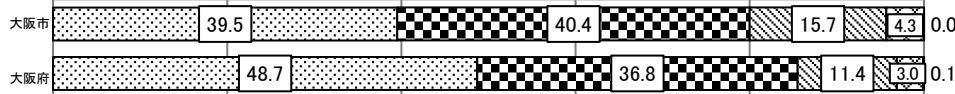
■本調査の結果とともに「ワークブック」や「力だめしプリント」などの学習に役立つ情報については、大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課のWebページにおいてもお知らせしていますので、ご活用ください。
○復習教材 http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/r02_3_fukushu.html

1年生におけるアンケート結果

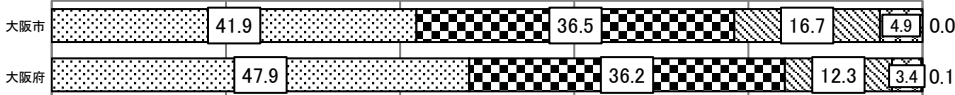
1-7 当てはまる どちらかといえば、当てはまる どちらかといえば、当てはまらない 当てはまらない その他・無回答

8 4時間以上 3時間以上4時間より少ない 2時間以上3時間より少ない 1時間以上2時間より少ない 30分以上1時間より少ない 30分より少ない 携帯電話やスマートフォンを持っていない 無回答

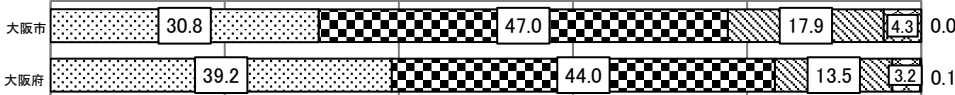
1. 授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。



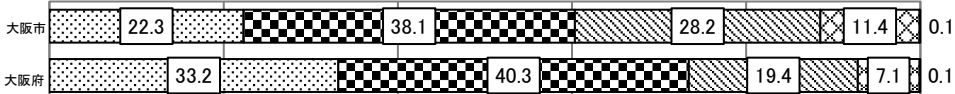
2. 授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。



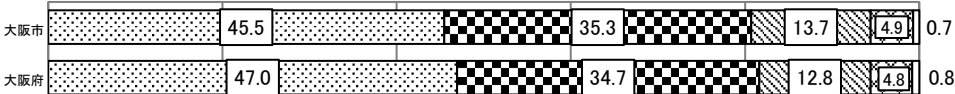
3. 授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。



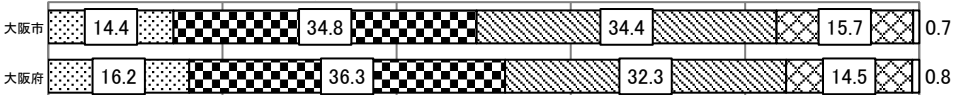
4. 授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。



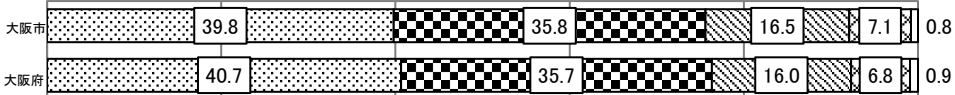
5. 授業中、間違っても笑われない。



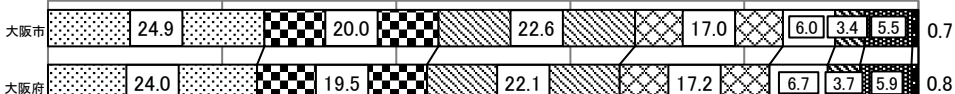
6. 自ら課題を見つけて、家で勉強をしている。



7. テレビや新聞、インターネットなどのニュースを見る。



8. 普段(月曜日から金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか。

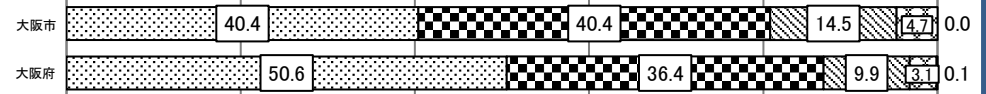


2年生におけるアンケート結果

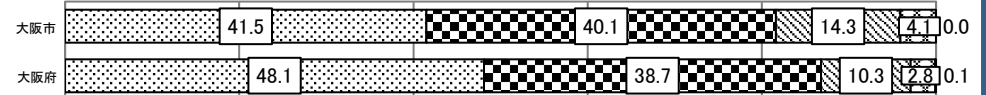
1-7 当てはまる どちらかといえば、当てはまる どちらかといえば、当てはまらない 当てはまらない その他・無回答

8 4時間以上 3時間以上4時間より少ない 2時間以上3時間より少ない 1時間以上2時間より少ない 30分以上1時間より少ない 30分より少ない 携帯電話やスマートフォンを持っていない 無回答

1. 授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。



2. 授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。



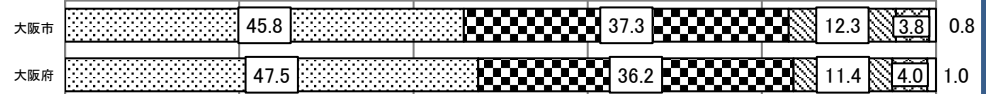
3. 授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。



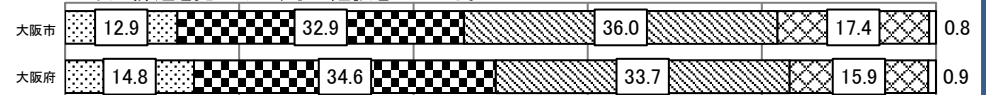
4. 授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。



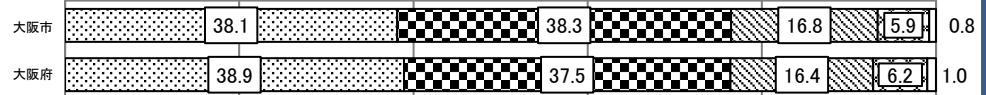
5. 授業中、間違っても笑われない。



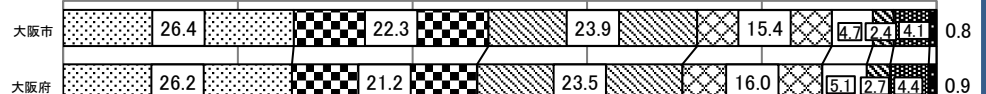
6. 自ら課題を見つけて、家で勉強をしている。



7. テレビや新聞、インターネットなどのニュースを見る。



8. 普段(月曜日から金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか。



令和3年度2年生と令和2年度1年生 アンケートの結果比較

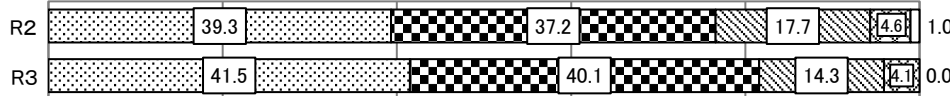
1~7 当てはまる どちらかといえば、当てはまる どちらかといえば、当てはまらない 当てはまらない その他・無回答

8 4時間以上 3時間以上4時間より少ない 2時間以上3時間より少ない 1時間以上2時間より少ない 30分以上1時間より少ない 30分より少ない 携帯電話やスマートフォンを持っていない 無回答

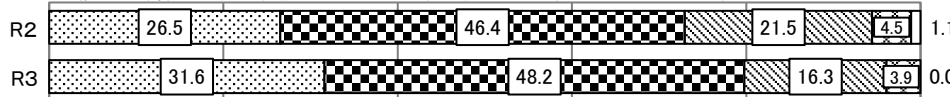
1. 授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。



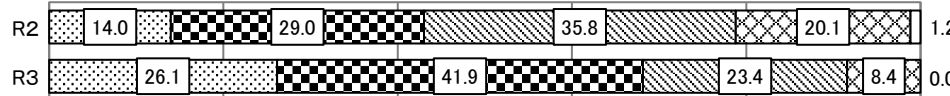
2. 授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。



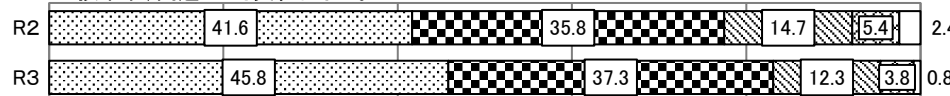
3. 授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。



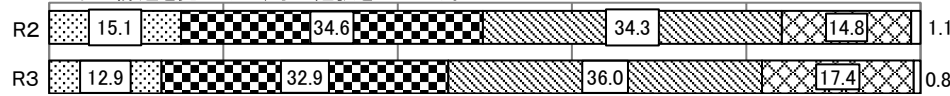
4. 授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。



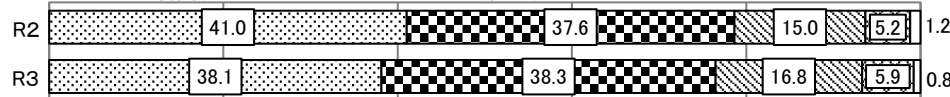
5. 授業中、間違っても笑われない。



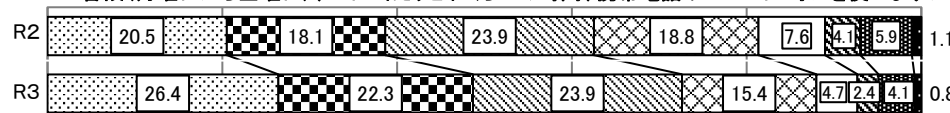
6. 自ら課題を見つけて、家で勉強をしている。



7. テレビや新聞、インターネットなどのニュースを見る。



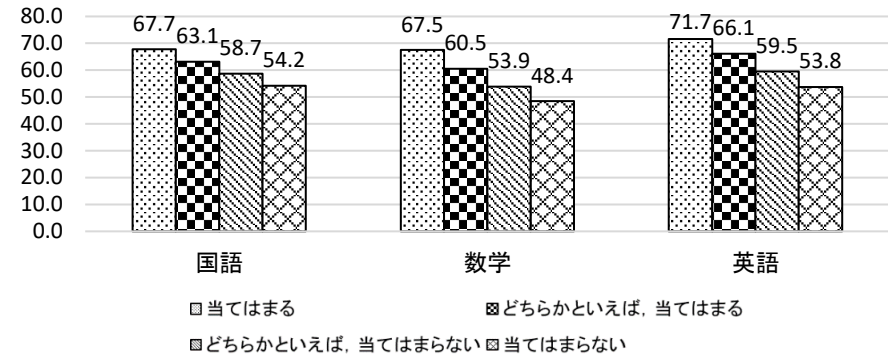
8. 普段(月曜日から金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか。



令和3年度 質問紙と学力のクロス分析

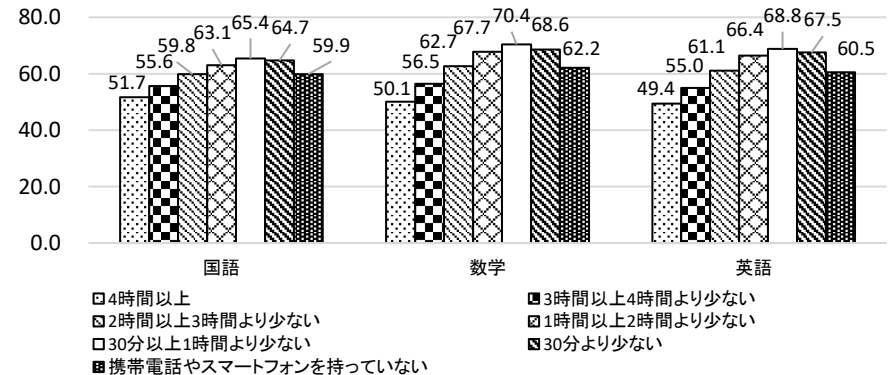
【中1】

○自ら課題を見つけて、家で勉強をしている生徒の方が教科の平均点に高い傾向が見られます。



【中2】

○携帯電話やスマートフォンを持っている生徒で、普段(月曜日から金曜日)の使用時間が1時間を超えて長くなるほど平均点が低くなる傾向が見られます。



■こうした傾向を参考にしながら、学習方法や生活習慣などを振り返りましょう。